

令和7年度

**野菜**

教科	農業	単位数	3単位	学科・学年	園芸科学科・2年
使用教科書	野菜（実教出版）				
副教材など	自作プリント等				

**科目の概要、到達目標**

○野菜全体および各栽培種の生産、経営に必要な知識と技術を身に付けます。  
 ○さらなる生産性の向上や経営の改善を図るための能力や態度を育てます。

**学習計画、自己評価**

期	月	学 習 内 容	学習のねらい	自己評価	
前 期	4	1 野菜生産の役割と動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の種類と特徴</li> <li>野菜の消費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界や日本の野菜の種類や特徴を気候や文化と関連付けて理解する。</li> <li>戦前から戦後および現代にいたる野菜の消費の特徴について理解する。</li> </ul>	( )
	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の生産と供給</li> <li>野菜の生育と生理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要な野菜が年間を通じて入手できる理由やそれを支える仕組みについて理解する。</li> </ul>	( )
	6	2 野菜の生産特性と栽培環境の調節技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の栽培環境と生育技術</li> <li>人工環境における栽培技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の基本的な生育の仕組みや、生理についての知識を身に付ける。</li> </ul>	( )
	7				( )
	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜にとって適した栽培環境の特徴や技術を身に付ける。</li> </ul>	( )
	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗の目的と方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗の意義と目的および、基本的な技術について理解する。</li> </ul>	( )
	10	3 野菜の育苗	<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗技術の実際と応用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗技術の生産現場での用いられ方やより高度な技術について理解する。</li> </ul>	( )
	11	4 果実を利用する野菜の栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>キュウリ</li> <li>ハウスメロン</li> <li>トマト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>果実を利用する各野菜の生育の特徴や栽培技術について理解する。</li> </ul>	( )
	12	5 葉や花茎を利用する野菜の栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャベツ</li> <li>ハクサイ</li> <li>タマネギ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>葉や花茎を利用する各野菜の生育の特徴や栽培技術について理解する。</li> </ul>	( )
後 期	1	6 根を利用する野菜の栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイコン</li> <li>ニンジン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根を利用する各野菜の生育の特徴や栽培技術について理解する。</li> </ul>	( )
	2				( )
	3	7 野菜の流通と経営改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の流通と鮮度保持</li> <li>野菜生産の経営改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜生産の抱える課題を理解し、その改善や生産性の向上を図るための技術や取り組みの事例を理解する。</li> </ul>	( )

**評価の観点、方法**

○定期考査、課題テスト、提出物（ノート、レポートなどの課題）、学習の状況について、a 知識・技能（技術） b 思考・判断・表現 c 主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価します。

**定期考査の範囲、課題**

前	中間考査範囲	
	期末考査範囲	
期	夏休みの課題	
後	中間考査範囲	
	学年末考査範囲	
期	冬休みの課題	

